

# もし就職した職場が ブラック だったらどうする？

妊娠・出産の話や、環境問題、労務問題など、社会には通常の授業では学びきれない課題がたくさんあります。本セミナーでは、社会人になる前に知っておいた方がよいこと・考えておいた方がよいことを学ぶことができます。



日時：2017年 7月4日 (火)

13:30~15:00 (申込不要)

場所：南山大学 DB1教室

対象：南山大学に所属する大学生・大学院生

演題：「職場におけるメンタルヘルスと労務問題」

講師：生越照幸氏 (弁護士)

対談：桑和彦氏 (名古屋市立大学教授)

企画・コーディネータ：森山花鈴 (南山大学社会倫理研究所)

**講師紹介：生越 照幸 (おごし・てるゆき)**

弁護士法人ライフパートナー法律事務所 弁護士

経歴：東北大学工学部卒業、同大学院国際文化研究科修了、「自殺実態白書2008」製作コアメンバー、厚生労働省「職場におけるメンタルヘルス対策検討会」メンバー、自死遺族支援弁護士事務所局長など歴任。過労自殺問題に取り組み、自死遺族支援を行っている。

**対談者紹介：桑和彦 (くめ・かずひこ)**

名古屋市立大学大学院薬学研究科神経薬理学分野 教授

経歴：名古屋市生まれ。東京大学医学部卒業、大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了。ハーバード大、熊本大学発生医学研究所准教授などを経て、2013年より現職。睡眠に関する問題に詳しい。

2017年度第4回目の今回のテーマは、「就職した職場がブラックだったらどうする？」です。近年、「過労自殺」が問題になっていますが、皆さんも、卒業後、就職した職場でもしかしたら過重労働やパワーハラスメントを経験することがあるかもしれません。その時、どのようにして自分の身を守れば良いのか。今回は、過労自殺で家族を亡くされた遺族の方の支援を行われている弁護士の生越さんをお呼びし、「ブラック職場のサバイバル術」を伺います。